

2020年度関西大学博物館春季企画展

受贈記念 横山滋ガラスコレクション

# びいどろ ギヤマン ガラス展

ガラス器を愛で愉しむ

秘められた名品、一挙公開！



左から  
型吹き黄色花唐草文ガラス碗／型吹き緑色隅入竹文蓋付ガラス碗／  
藍緑朝顔形脚付ガラス杯／切子斜格子に麻の葉文脚付ガラス杯／  
藍色ガラス徳利へすべて横山滋ガラスコレクション 写真：アトビジシ 加藤成文

## 2020.4.1(水) → 5.17(日)

関西大学博物館 特別展示室 (関西大学千里山キャンパス内)

開館時間 / 10:00 - 16:00

休館日 / 日曜日・祝日 (4月5日・29日、5月17日は特別開館)

入館料 / 無料

お問い合わせ / 関西大学博物館

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL. 06-6368-1171

関西大学博物館

検索



関西大学博物館  
Kansai University Museum

受贈記念 横山滋ガラスコレクション

# びいどろ・ギヤマン・ガラス展

—ガラス器を愛で愉しむ—

関西大学博物館は、2018(平成30)年度、広島在住の医師、横山滋氏が収集されたガラスコレクションを一括して受贈いたしました。

故横山滋氏は、びいどろと呼ばれた江戸期の和ガラス、輸入されたヨーロッパ製ガラスであるギヤマン、これを手本にして生まれた和製ギヤマン、そして近代のガラス器まで、長きにわたって収集されました。これまでいくつかの優品は展覧会に貸し出されましたが、コレクションの全貌は、明らかになっていませんでした。コレクションの特質のひとつは、横山氏の執念とも言うべき三つ入れ子形式の盃の収集、五枚組の皿などを揃えようとする、たゆみない鋭意の成果にあります。そしてまた、コレクターの鑑と言ってよい、器物の形にあわせて切り込んだ布張りを設けた自製の箱による収納方法が特筆されます。ガラス器を愛で愉しんだ収集家の愛情を感じさせる手厚い収納です。

本展覧会では、横山滋ガラスコレクションの受贈を記念し、近世の和ガラス—びいどろ、和製ギヤマンを筆頭に、江戸期の輸入ガラス、近代のガラスの名品の数々約200点を厳選し、章分けをしてお披露目いたします。近代の大阪で製作されたガラス器、広島の前爆で被災したガラス器も紹介いたします。

## ■ 講演

### 「びいどろ・ギヤマンを愛でる —横山滋ガラスコレクションの意義—」

日時／2020年5月2日(土) 13:30～15:00

会場／関西大学博物館

講師／岡 泰正(本展監修者 神戸市立小磯記念美術館・神戸ゆかりの美術館 館長)

参加無料。要事前申込。参加を希望される方は件名を「和ガラス講演会」とし、①氏名(漢字・ふりがな)②連絡先(電話番号・E-mailアドレス)を記入のうえ、E-mailもしくは往復はがき(返信先住所記入のこと)にてお申込みください(E-mail:hakubutsukan@ml.kandai.jp)。

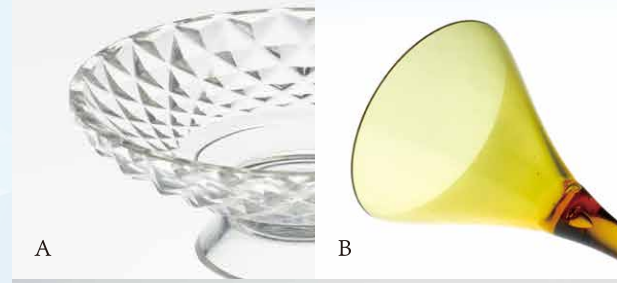
■個人情報、本講演会にのみ使用させていただきます。

## ■ 会場

KANSAI UNIVERSITY  
MUSEUM SINCE 1994  
関西大学博物館  
Kansai University Museum

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
TEL. 06-6368-1171  
hakubutsukan@ml.kandai.jp  
http://www.kansai-u.ac.jp/Museum

関西大学博物館 🔍 検索



A

B



C



E

D



F

G



H

I



J

A. 切り霞文ガラス盃/B. 黄色ガラス可杯/C. 型吹き菊形黄色ガラス盃(左)・型吹き緑色鶴丸文ガラス盃(右)/D. 黄色斑入ガラスこうがい(べっこう見立て)/E. 金彩花卉文栓付ガラス瓶/F. 紫色ガラス鉢/G. 切子青色被せ脚付ガラス杯/H. 花縁乳白色ガラス鉢/I. グラヴェール花卉文蓋付ガラス碗/J. 型吹き麻の葉文青色ガラス盃(三つ入れ子)

《すべて横山滋ガラスコレクション》(C・Jを除きいずれも部分 写真:アートビジョン 加藤成文)